



マスコットキャラクター
「たねっこ」

種まき通信



第64号 編集・発行：田根地区・地域づくり協議会
2024.9 〒526-0273 長浜市高畑町316-1 Tel74-1450

昨年に引き続き今年度も市民協働事業に取り組みました。今年度は、昨年早稲田大学の学生さんから提案のあった「中1ギャップ」を軽減しようという取り組みで、七月二十四日か



7/24 初回は下級生も加わりミニコンサートとリトミック

令和六年度 市民協働事業
中1ギャップ、
少しは軽減できたかな？



7/25 第2回 スペイン人の本場パエリアづくり体験

ら八月七日までの間、計九回の体験教室を行いました。六年生限定で、田根小が八名、湯田小二名、浅井小二名の合計十二名が参加。雰囲気は最初から和やかで、違う小学校に通う六年生同士が和気あいあいと取り組んでいました。

体験教室は、大きく三部制。第一部の講師はポーランドやスペインからのアーティスト。英語やスペイン語が飛び交う国際色豊かな授業となりました。第二部は、慶應大学生たちによる体験教室。当初、プログラミング教室の予定でしたが、一人ずつがパソコンに向かい合うより、チームで何かを作り上げる方が友だちづくりに適しているという学生たちの判断で、田根のヒノキや木片、新聞紙を使った工作体験になりました。



7/26 第3回 版画に挑戦



8/1 第5回 慶大生による「これはなんの木？」

第三部の講師は地元の方々。
ドローン体験の講師は、下草
野の空撮人ゴリちゃん。
この子たちが免許を取るころ
には、ドローンが空飛ぶ車とし
て活躍していることでしょう。



7/29 第4回 ドローン教室



8/5 第7回 慶大生による「体をつかって構造について学ぼう」



8/2 第6回 慶大生による「田根のヒノキでえんぴつを作ろう」

ポーセラーツ教室の講師は、
田根の嶋原さんです。
嶋原さんには、田根まちづく
りセンターで開催している子ど
も学び座でもお世話になってい
ます。この教室に参加したいた
らと浅井小から応募してくれた
児童もいます。



8/6 第8回 赤田さんによるちぎり絵づくり

ちぎり絵の講師は、田根の赤
田さんです。
赤田さんには、地域づくり協
議会のマスコットキャラクター
「たねっこ」を作っていただき
ました。この通信のタイトルに
も使わせていただいています。

計九回の体験教室を通して、
田根小の子どもたちは、湯田小
や浅井小の友だちをつくること
ができ、来年中学校へ行っても
その子たちを通じて、さらに多
くの友だちが出来る事でしょう。
今回の目的は、たくさんの子
供達をすること以上に、中学校で
同級生となる他校の友だちを今
から作ることで、小さな小学校
から大きな中学校への進学に伴
う「中一ギャップ」を少しでも
軽減することでした。
子どもたちの感想から、その
目的は想定以上に達成できたの
ではないかと感じています。



8/7 第9回 嶋原さんによるポーセラーツ教室

田根まちセンからのお知らせ

2024
9月



「小6限定 夏休み子ども学び座 田根小学校にて」

1、2ページに掲載のとおり、この夏休みに実施しました。感想をいくつかご紹介します。

何人かの人には少し知ってたけど、初めて会う人とも話できたし、よかったです。

料理をみんなで協力できたことや、自分でものづくり、協力ゲームなど、楽しかったです!!

活動が全部楽しかった。ほかの学校の人と交流できてとても良かったです。

友達も作れたし、いろんなものも作れたのでよかった。中学校でまた会いたいです。



8月7日に取り組んだポーセラーツの作品
(マグカップ)

知ってる人も知らない人もいたけど、いっぱい話せて楽しかったです。

しゃべったことがない人でも楽しくしゃべれました。私は特に大きなドームづくりが楽しかったです。中に入れてとても楽しかったです。

マスキングテープのちぎり絵が楽しかったです。いろんな人と交流できて良かったです。

田根小の子がすごく優しかった。また会いたいと思った。

来年もあるとしたらどんなのかわいか尋ねたら、「今の5年生はどんなことがしたいかなあ」と言いながらスポーツ、裁縫、ポーセラーツ、イラスト、お祭り、今年みたいな感じ…とたくさんの提案が出ました。

子ども学び座

「田ねフェスタで子ども商店」

青年スタッフ を募集

10月20日の「田ねフェスタ」の時に小学生が「子ども商店」を開きます。その計画・準備の指導補助をしていただける方を募集しています。

子ども学び座は、9月23日(月・振休)9~15時と10月14日(月・祝)9~15時の2回あります。

2回とも出席できる18~25歳くらいの方を4名募集します。(謝礼あり)

応募メ切は9月20日(先着順)

応募先は田根まちづくりセンター

よろしくお願いします

R6年 9月 休館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

休館日です
赤色が

田根まちづくりセンター

開館時間:8時30分~17時15分

(夜間使用がある日は夜間もスタッフ在中)

休館日:月曜、第1・3日曜、祝日、年末年始

〒526-0273 長浜市高畑町316-1

TEL 0749-74-1450

FAX 0749-74-1445

✉ tane-machisen@zc.ztv.ne.jp

気軽に声掛けてください！

堀田雅史の活動報告

● 多くの大学生が来ました！



7月中旬から慶應義塾大学を皮切りに、約1か月に渡り多くの大学生や若者が田根に来訪しました。私の集計したところ、延べ人数約300名でした。今年「大学生が継続的に関わり続ける仕組み作り」を大きなテーマに活動しています。田根小学校の児童向けに出席授業を行ったり、地域住民や長浜で情報発信を行っている方にインタビュを行いました。真夏の炎天下の中、大学生たちは精力的に活動を行いました。

学生たちが「この地域に何があれば、再度訪れたくなるか」と自分事に置き換えインタビューを行っていたのが印象的でした。多くの学生が田根の自然や交流した住民・小学生のことを好きになっていったと思いますが、それだけでは次に繋がる動機としては弱いと思います。

学生・若者として大都市圏から地方へ人口が流れる新しい仕組みの提案を楽しみにしたいと思います！

● 慶應義塾大学サマーセミナー



8月9日～10日に毎年恒例の「慶應義塾大学サマーセミナー」が開催されました。今年は谷口町にあるヒノキを使った遊具を製作しました。田根にある資源を使い、人々が交流できる場所を作ることをこの数年のコンセプトにしています。今回は、腐食などに強いヒノキを使った安全な遊具ということでした。

7月中旬からヒノキの切り出しや準備、製作のための設計など多くの時間を要していましたが、当日は虎姫高校の生徒10名、田根小学校の児童6名と一生懸命作業していました。一旦は無事に完成したようですが、使用方法やルールなどの掲載は（8月15日現在）間に合っており、少しずつ改良していく予定です。既に完成はしているため、ご自由にご利用ください。

この遊具は、さくら番場さんの隣の私有地に設置してあります。駐車場の一角にあるため車の往来もありますので、十分注意していただければと思います。

編集後記

7月末に荷物の引っ越し、8月上旬に妻がこちらに引っ越ししてきました。今後とも夫婦共々よろしく致します。

さて、大学生を田根地区に呼び込む活動も早3年目になりました。大学生ともdiscordというコミュニケーションアプリで交流を続け、過去に100名を超す大学生が携わった・田根に来たようです。将来は田根に住むと明言している大学生もいれば、田根で何かしたいと思っている若者もチラホラ出てきています。私の任期は3年で終わりになりますが、私自身その後田根に住みながら、このような活動で種蒔きを続けていきたいと思っています。

プロフィール

堀田 雅史 ほった まさし

1986年、埼玉県桶川市で生まれ、群馬県東吾妻町で育ちました。
趣味は、サッカーとフットサルです！

